



在宅医療連携拠点事業報告

報告日:平成25年2月2日(土)
施設名:白山石川医療企業団 公立つるぎ病院
所在地:石川県白山市鶴来水戸町ノ1番地
連絡先:076-272-1250

地域と公立つるぎ病院(白山市)

公立松任石川
中央病院



ぬくもりと
おもいやりの医療を
わたしたちは地域の中核病院として、ぬくもりとおもいやりの医療に努めるとともに、信頼され安心できる医療と、患者サービスの向上に努めます。

吉野谷診療所



白峰診療所



公立つるぎ病院



中宮診療所



白山市

H24.4.1現在

面	積	755.17 km ²
人	口	112,673 人
世	帯	39,542 世帯
65 歳以上	高齢者数	24,026 人
	高齢化率	21.3 %
75 歳以上	高齢者数	11,713 人
	高齢化率	10.4 %
介護認定者数		4,109 人

地域の特性

鶴来、白山ろく地域

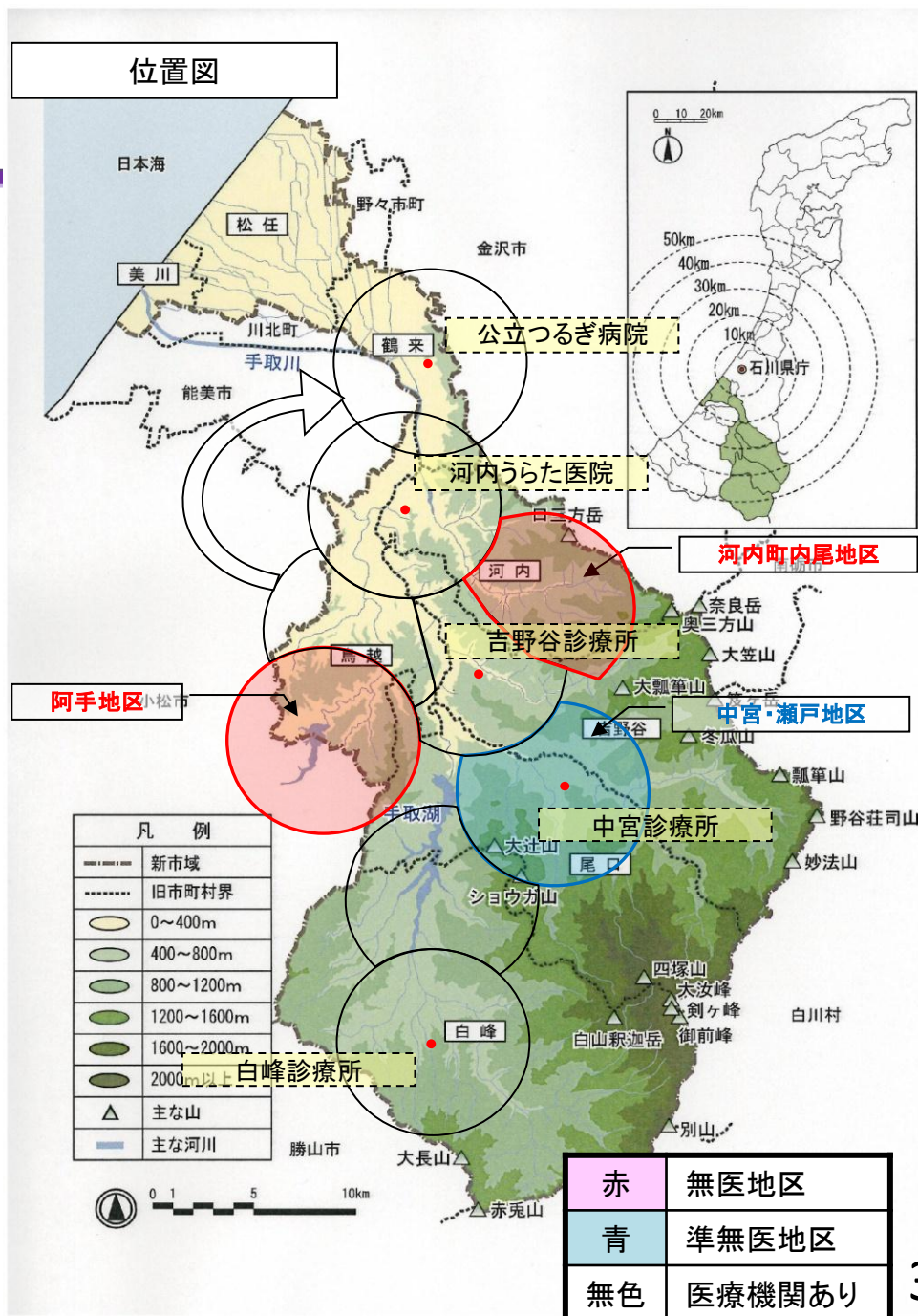
H24.4.1現在

項目	鶴来	白山ろく
面積	35.64 km ²	650.48 km ²
人口	22,597 人	6,768 人
世帯	7,765 世帯	2,387 世帯
65歳以上 高齢者数	4,669 人	2,279 人
65歳以上 高齢化率	20.7 %	33.7 %
75歳以上 高齢者数	2,301 人	1,405 人
75歳以上 高齢化率	10.2 %	20.8 人
介護認定者数	779 人	461 人
備考	松任地域と白山ろく地域の中間に位置する地域で、北陸鉄道鶴来駅を中心に市街地が形成されている。 白山市の南部に位置する山間地域で、少子高齢化の進行が顕著であり、市内において最も高齢化率が高い地域。	

※ 白山市が定める日常生活圏域に基づく。



雪だるままつり



公立つるぎ病院 概要

◆病床数

152床

- 一般 99床(うち亜急性期 8床)
- 療養 53床(医療療養 27床、回復期リハビリ 26床)

◆在宅への取り組み

- ・訪問診療、訪問リハビリ
- ・無医地区への巡回診療
- ・レスパイト入院(当病院内での受け入れ規定あり)
- ・出前講座

【講演内容】

「膝・腰の痛みと体操療法」、「マンモグラフィ検診について」、
「腰痛の原因と予防方法について」、「認知症について」…など

◆併設サービス、施設

- ・居宅介護支援事業
- ・通所リハビリテーション事業



国保診療所 概要

■ 吉野谷診療所

所在地

石川県白山市佐良二124番地

診療科目

内科・外科・小児科

職員

医師1人、看護師2人、事務3人

特徴

在宅医療に積極的に取り組み、患者さんが安心して自宅で暮らせるように在宅療養支援診療所の届出を行なっている。



■ 中宮診療所

所在地

石川県白山市中宮カ3番地

診療科目

内科・小児科

診療時間

月曜日 午後2:10～3:50

職員

吉野谷診療所職員が兼務

■ 白峰診療所

所在地

石川県白山市白峰ハ157番1地

診療科目

内科

職員

医師1人、看護師1人、事務1人

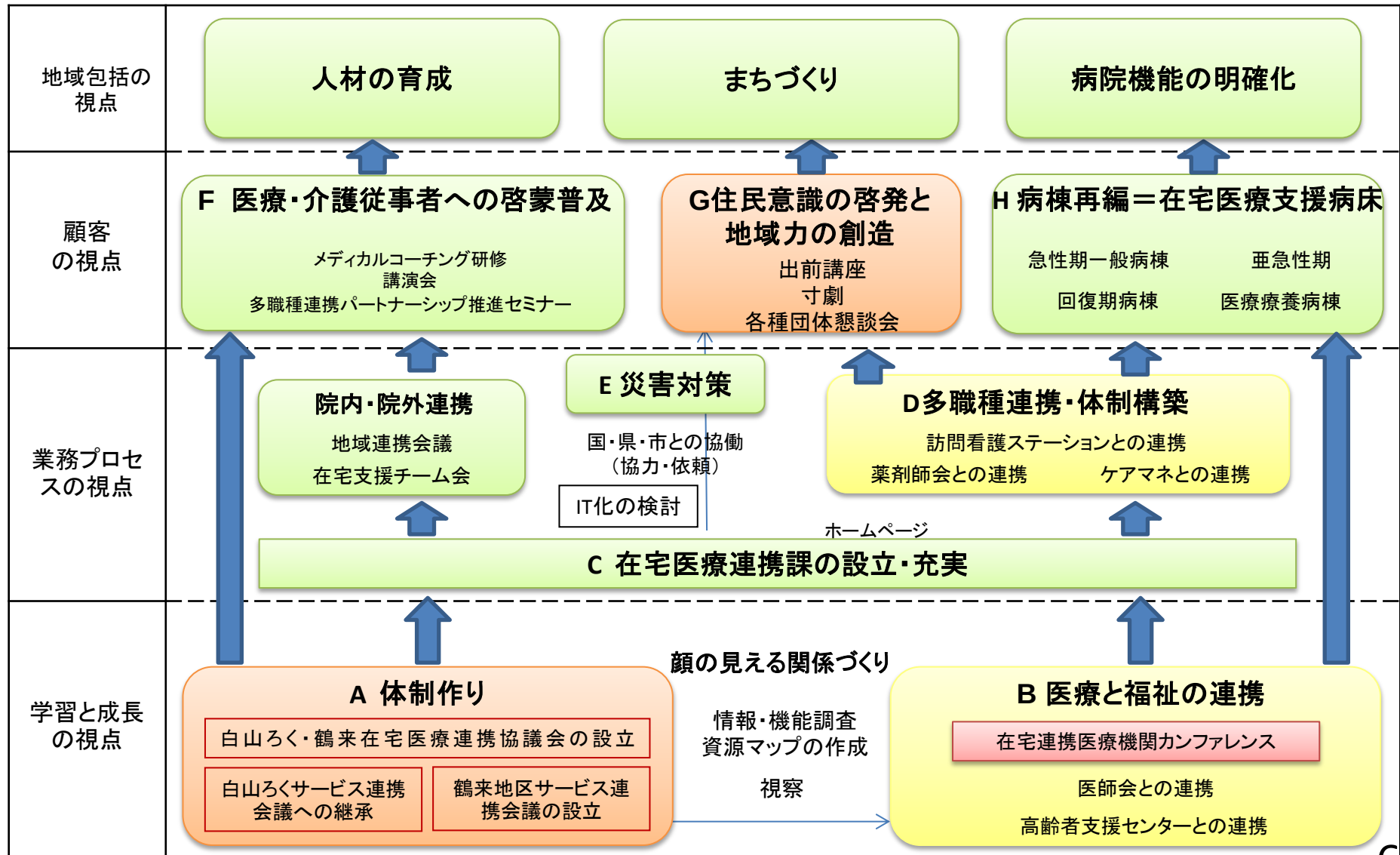
特徴

患者個々に応じた適切な治療方針を決定し、治療の継続もスムーズに行なうように努めている。また、超音波検査、脳波検査、心電図検査、レントゲン検査等様々な検査も行いながら、必要に応じて他医療機関と連携している。



在宅医療連携拠点事業

公立つるぎ病院 在宅医療連携拠点事業



白山ろく・鶴来地区医療機関



地域での医療・介護にまつわる背景、問題点

白山ろく地区

- (1) 広大な地域であるが、無医地区(2箇所) 準無医地区(1箇所)が存在する
- (2) チーム医療・ケアが不可欠
→高齢者サービス調整会議の必要
- (3) 専門職との連携や在宅医療・介護従事者の負担
- (4) 一人暮らし高齢者の「在宅看取り」
- (5) 1人医師体制での限界
(夜間、休日、出張等不在時など)

白山ろくサービス連携会議



目的

白山ろくの住民が安心して療養、生活を送ることができるように、医療、介護、福祉などの異なる機関に所属する多職種が連携して在宅医療を支えるためのネットワークとシステムの構築を図ることを目的とし、国が進める「在宅医療連携拠点事業」に寄与する。

【構成員】

H25.1.16現在

種 別	職 種	参加事業所数
診療所	医師、看護師、ケアマネジャー、事務	3
病院	作業療法士（訪問リハビリ担当者）	1
訪問看護事業所	看護師	1
介護保険施設	ケアマネジャー	2
行政	保健師、看護師、栄養士、事務職等	2
調剤薬局	管理者、薬剤師	1
歯科診療所	歯科医師	1
事務局	（公立つるぎ病院）	
合計		11

地域での医療・介護にまつわる背景、問題点

鶴来地区

- (1) 訪問看護師と病院医師との連携が図りづらく、診療内容が分かりづらい
- (2) 医療依存度の高い患者の継続的な在宅療養支援
- (3) 多様化する医療ニーズへの対応と専門性の発揮
- (4) 多職種が一堂に会する場がない
- (5) 24時間診療体制を構築している診療所が少ない

鶴来地区サービス連携会議

第1回

鶴来地区サービス連携会議

開催日時：平成24年8月7日（火）
19時00分～20時00分

開催場所：公立つるぎ病院 会議室

参加者：38人

職 種

医師、歯科医師、薬剤師、看護師、
訪問看護師、介護支援専門員、
訪問リハビリ、行政（保健師、社会福祉士）、
MSW、事務職



目的

鶴来地区の住民が安心して療養、生活を送ることができるように、医療、介護、福祉などの異なる機関に所属する多職種が連携して在宅医療を支えるためのネットワークとシステムの構築を図ることを目的とし、国が進める「在宅医療連携拠点事業」に寄与する。

～鶴来地区で多職種が初めて一堂に会しました～

鶴来地区サービス連携会議



第1回

第2回

会議形式の変更
第二回以降



第3回 歯科医師によるプレゼンテーション



組織化

◆多職種が一堂に会する場の設定

拠点事業 事務局

公立つるぎ病院	
看護師(介護支援専門員)	2人
MSW	2人
事務職	3人

白山ろく鶴来在宅医療連携協議会

構 成 員	白山ののいち医師会 白山ろく、鶴来地区の診療所・病院 訪問看護ステーション(石川県医療在宅ケア事業団) 行政(白山市高齢者支援センター) 白山石川医療企業団 公立つるぎ病院 上記より各代表者(計 8人)
【職種】 医師、看護師、行政事務職、事務職 ※何れも管理職者	
アドバイザー	・石川県医療在宅ケア事業団 訪問看護管理部長 ・石川県立看護大学 看護学博士 在宅看護学講師 ・白山石川医療企業団 企業長



白山ろくサービス連携会議

構 成 員	白山ろく内に事業所を有する医療・福祉関係機関並びに、白山ろく内に介入する医療・福祉関係機関の各施設代表者 【職種】 医師、看護師、ケアマネジャー、作業療法士(訪問リハビリ担当者)、薬剤師、歯科医師、行政(保健師、看護師、作業療法士、栄養士、事務職)、事務職
-------	--

鶴来地区サービス連携会議

構 成 員	鶴来地区内に事業所を有する医療・福祉関係機関並びに、鶴来地区内に介入する医療・福祉関係機関の各施設代表者 【職種】 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、ケアマネジャー、作業療法士(訪問リハビリ担当者)、行政(保健師、作業療法士、社会福祉士、主任介護支援専門員)、事務職
-------	--

在宅連携医療機関カンファレンス

在宅療養支援診療所・支援病院

医師、看護師、ケアマネ、OT等で構成



平成24年4月より開始

K診療所

S診療所

Y診療所

公立つるぎ病院

平成24年11月より参加

Y診療所

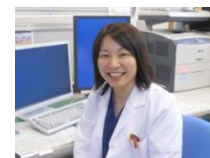
平成24年12月より参加

S診療所

O診療所

平成25年1月より参加

T診療所



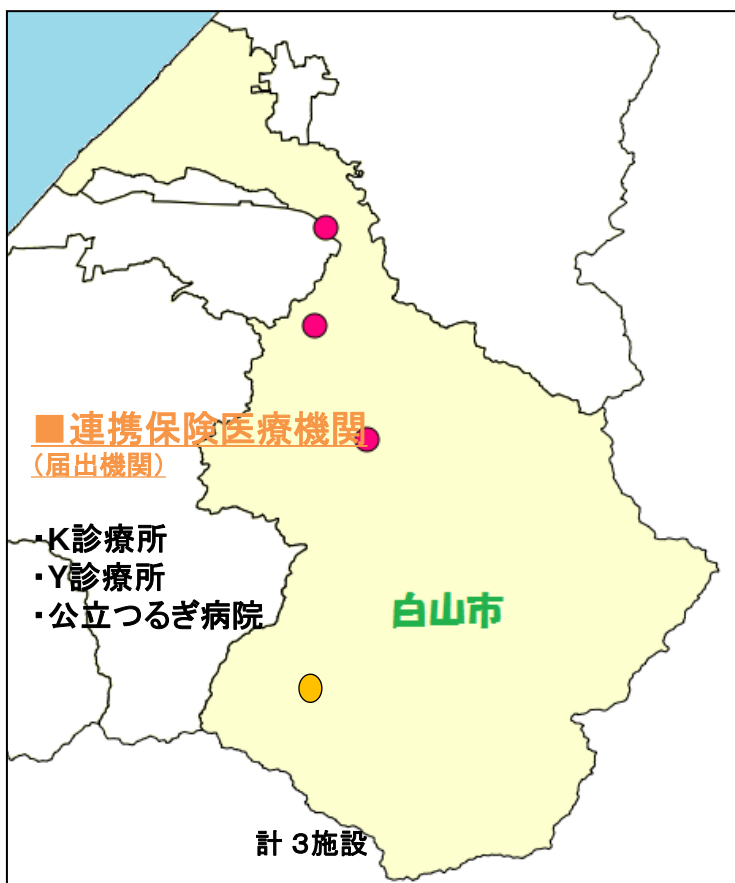
(月1回開催)



活動内容・実績

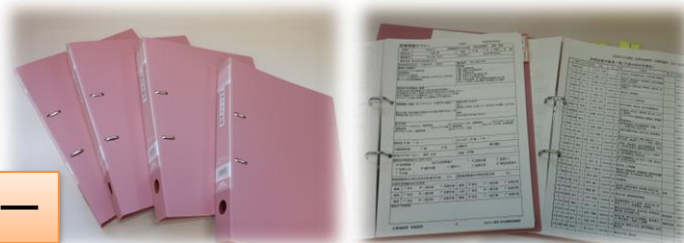
連携強化型在宅療養支援診療所・病院の届出

(平成24年8月～)



【24時間対応の在宅医療提供体制の構築・取り組み】

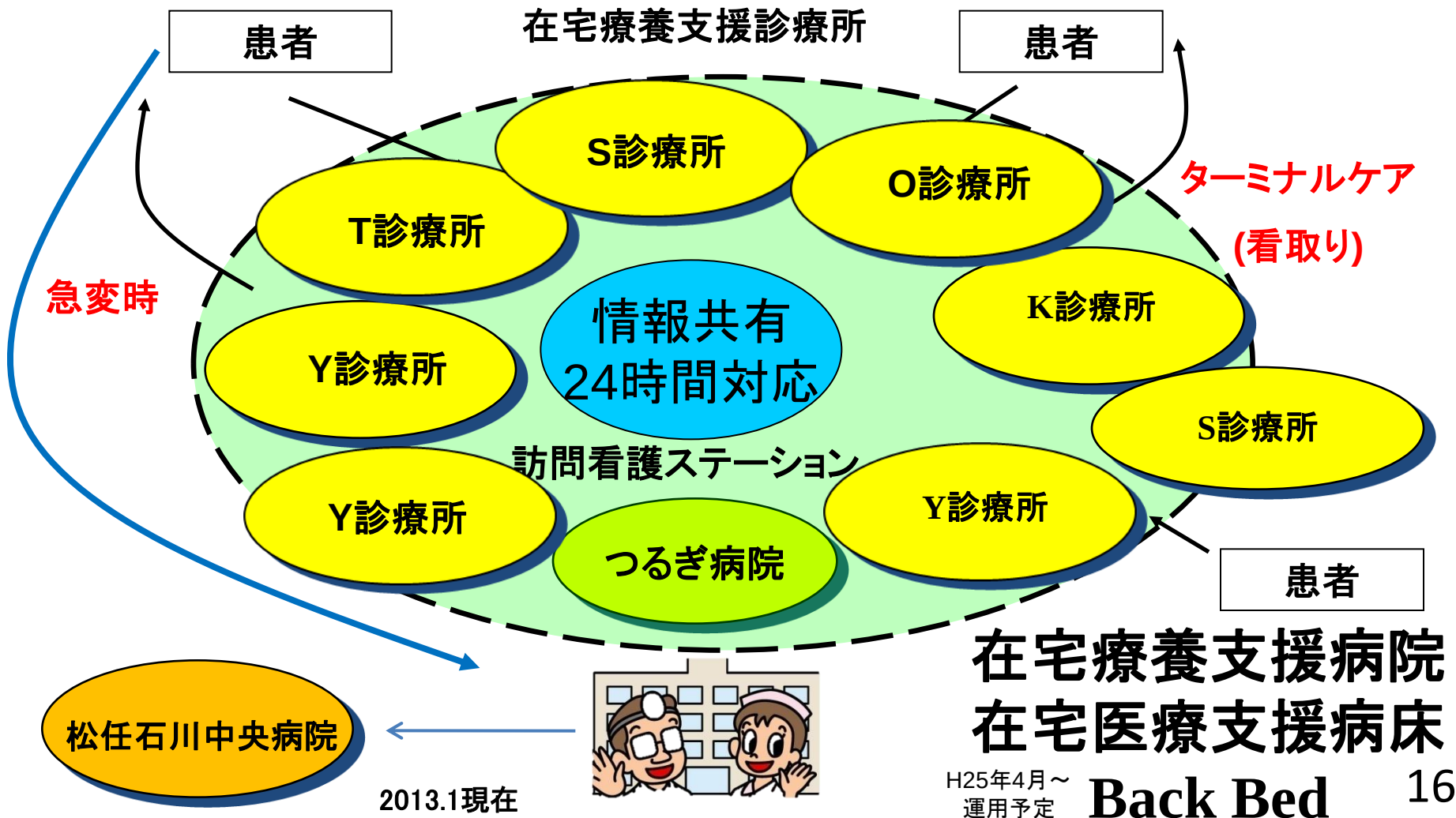
- ・在宅連携医療機関カンファレンス
⇒平成24年4月より毎月1回開催
- ・情報共有
⇒共通様式「診療情報サマリー」の作成
- ・主治医が遠方へ出張等による不在時、連携医療機関内で診療体制を補完
- ・緊急時のバックアップ体制の強化
⇒病院ベッドの確保と円滑な受け入れ体制の確立



診療情報サマリー

在宅医療 診療報酬上 で連携

	訪問診療	24時間対応	急変時の対応	ターミナルケア	急変時の入院
連携した在支診	◎	連携で◎	連携で◎	連携で◎	連携で◎



白山市高齢者支援センターとのミーティング

(地域包括支援センター)

平成24年4月より訪問開始

在宅医療連携拠点事業の内容
説明から開始



平成24年12月
白山市長寿介護課 職員も参加し
11名で会議する。

在宅医療連携課

従来の医療サービス課の地域連携係と新設の在宅連携係を統合して4月に立ち上げた

【院内連携、院外連携】

地域の医療・介護・福祉と当病院を結ぶ多職種連携窓口として設立した部門



在宅医療連携課のスタッフ

- ・課長
- ・看護師
- ・介護支援専門員
- ・医療ソーシャルワーカー
- ・主事(医療コーディネーター)

宮下
村山
針道
寺島 奥谷
石川

在宅医療に係わる機関等との連携の強化

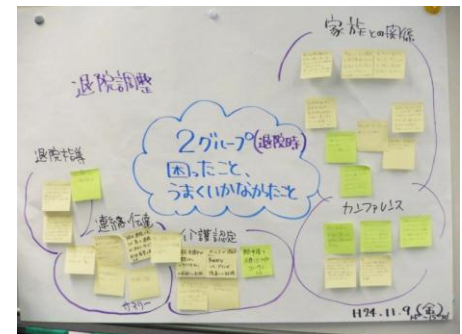
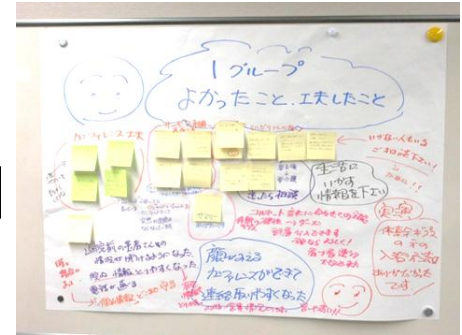
- ケアマネジャー・訪問看護師・病院職員
との意見交換会
⇒ 第1回「入院時から入院中の連携」
第2回「退院時の連携」

【結果】

鶴来、白山ろく地区のケアマネジャー事業所 7事業所、訪問看護師ステーション 2事業所、白山市高齢者支援センター(行政)、新村病院(病棟師長、地域連携看護師)、公立つるぎ病院(病棟師長、病棟看護師)

⇒以上のメンバーが参加し開催、顔も見える連携となり、有意義でしたと終了アンケートにあった。

- 訪問看護ステーションとのミーティング
- 薬剤師との意見交換会
⇒白山市高齢者支援センターとの協働により実現



E.災害対策

1. 大規模災害訓練

- ・公立つるぎ病院で実施
→HOT ROOMの設置



- ・白峰地区の防災訓練
に、白峰診療所も参加

2. 防災機器の設置 自家発電機など

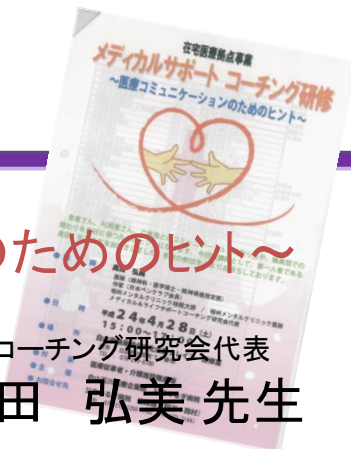


活動内容・実績

■ メディカルコーチング研修～医療コミュニケーションのためのヒント～

／ 相州メンタルクリニック相模大野、高知大学医学部非常勤講師、メディカル＆ライフサポートコーチング研究会代表

奥田 弘美 先生



■ 多職種連携パートナーシップ推進セミナー

／ 石川県立看護大学 彦 聖美 先生

⇒ テーマ:「コミュニケーションスキルを磨く」(4回シリーズ)

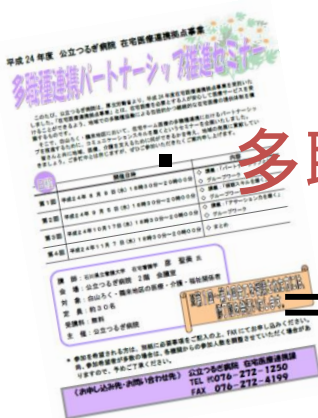
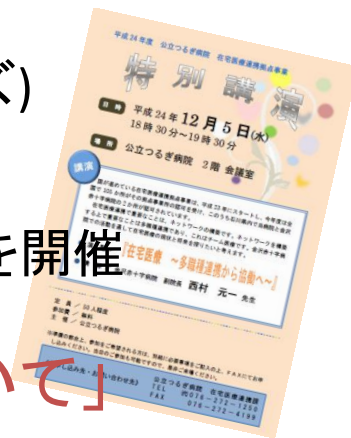
5回目には「特別講演」として、

西村 元一 先生(金沢赤十字病院 副院長)による講演会を開催

「地域住民の死生観と終末期療養ニーズについて」

／ 石川県立看護大学 浅見 洋 先生

⇒ 地域住民の思いに寄り添い、専門性を発揮して、地域に根ざした包括的医療・ケアの実現を追求する。



G.住民意識の啓発と地域力の創造

- ・**特別企画**(白山ろくサービス連携会議にて企画)
講演会・寸劇の実施



- ・**婦人会への出前講座・意見交換会**

高齢化が進む中、認知症についての知識を得たい。また、病院職員と話し合う機会を設けたいとの要望があり実施に至った。

- ・**民生委員へのアプローチ** 拠点事業の説明と理解



- ・**小冊子の作成**

医療・福祉資源マップを重点的に作成

①国立長寿医療研究センターへ視察

在宅医療支援(南3)病棟 視察



在宅医療を継続するための支援
在宅医療へ移行するための支援



②公立つるぎ病院で

在宅医療支援病床の開設



在宅医及び連携強化型在宅療養支援診療所が気軽に利用でき、かつ質の高い医療を実施するため平成25年4月より開設。

A nighttime aerial photograph of a city, likely in Japan, showing a river (Tsurugi River) winding through the urban landscape. The city lights are visible, and a large hospital complex is marked. The Japanese Sea is visible in the distance under a dark, cloudy sky.

日本海

手取川

公立つるぎ病院

日本の夜景100選

(獅子吼高原 頂上から)